

“5G（第5世代移動通信システム）”対応 エッジゲートウェイの開発開始のお知らせ

アイコム株式会社(本社:大阪市、社長:井上徳造)は、当社初の“5G”対応通信機器となる、さまざまな機器を多様な方法で接続する“5G”対応エッジゲートウェイの開発に着手しました。

当製品は、大量のデータを低遅延かつ高速に多数の端末とやり取りできる“5G”の特長を生かし、様々な産業機器と接続し、音声・画像などをシームレスに送受信可能な、新しい無線通信ソリューションを提供するデバイスとして開発に着手しています。そのため、“5G”のほか、Wi-Fi6(IEEE802.11ax)準拠の無線通信に加え、有線 LAN インターフェース、USB ポートや汎用の入出力端子を備えたIoT機器で、「ネットワークインフラのレイアウトフリー化」の一端を担うキーデバイスとして、さまざまな業種・用途でご利用いただけるものです。

製品の発売時期や詳細なスペックについては、開発がさらに進捗した段階で改めてお知らせいたします。



(画像は完成イメージです)

【“5G”製品開発と当社ビジネスの展望について】

最新の無線ネットワークである“5G”に対応した機器を製品化することで、従来のネットワーク環境の高速化・多数接続対応を実現し、当社がこれまで提供してきた通信機器と既存機器(通信機器他工場設備等)との接続性を向上させ、ユーザーニーズにマッチしたネットワークシステムの提案と提供を行います。

生産子会社である和歌山アイコム株式会社において、製造工程のロボット化を含むスマートファクトリー化を目指しており、当製品を活用する“5G”化の先進事例として(1)高速大容量(2)超低遅延(3)多数同時接続といった“5G”の可能性を追求します。

アイコムは KDDI 株式会社様の「KDDI 5G ビジネス共創アライアンス」に、デバイスパートナーとして参画しております。[\(https://biz.kddi.com/5g/partnerprogram/\)](https://biz.kddi.com/5g/partnerprogram/) をご参照ください。

アイコム株式会社について

アイコム株式会社(<https://www.icom.co.jp/>)は、東証一部上場(6820)の無線通信機器の総合メーカーです。1954年の創業以来、陸上業務無線機器をはじめ海上無線、航空無線、衛星通信、ナビゲーション機器、受信機、IP ネットワーク、アマチュア無線にいたるまで信頼性の高い製品を世界中に提供しています。アイコムの製品は、官公庁、公益団体、流通、空港、船舶、警備業、小売業など様々な分野で使用されています。

<本件に関するお問い合わせ先>

アイコム 経営管理部 06-6793-5301(担当 植畑)